

Weekly・Monthly

体験学習ガイド NO.2 (11/12)

□読書の時間②

子どもたちの寝る前 30 分は読書の時間に当てています。今週よく読んだ本は『としょかんライオン』（作: ミシェル・ヌードセン/絵: ケビン・ホークス/訳: 福本友美子/岩崎書店）でした。「たまには、ちゃんとしたわけがあって、きまりをまもれないことだってあるんです。いくらとしょかんのきまりでもね。」メッセージがダイレクトに伝わる読みやすい絵本です。少し長い絵本ですが、3歳の次女も最後までしっかり聞いています。7歳の長女は「もし駅で友だちが怪我したりしたら、携帯電話使っていいってことだよ。ルールより、友達助けるのが大事だもんね。」と言っていました。絵本は、何を言いたいのか読み取るのも面白いですが、たまにはこんな風に伝えたいことがダイレクトに書いてある本もいいですね。ところでこの絵本、裏表紙にまで物語が続いているって知っていますか？この裏表紙にいろいろな解釈ができるのも面白いです。この絵はどんな絵だと思う？そんな話を子どもとするのもいいかもしれません。後で知りましたが、アメリカの図書館や博物館の前には立派なライオンの石像があるようです。三越のよりも大きいとか…。アメリカに行く機会があったら、ライオンの石像も見て回りたいなと思います。その意味を考えながら…。
コーネル大学の図書館にもいってみたいな…。

□石川塾のあれこれ②

これまで石川塾長の地元逗子を中心だった遠足コースが来年度夏より大きく変更になります。現在塾長がコースを模索中です。1000メートル級の箱根外輪山は6月スタート。7月8月と夏から秋へ紅葉、初冬までコースを変えて歩く計画です。塾長も、私も私の家族も新しい遠足にワクワクドキドキ。みんなで楽しく自然に親しみ、足腰を鍛えてリフレッシュしませんか。詳細発表まで楽しみに今しばらくお待ちください。引き続き1月、2月、3月の遠足（無料）参加募集中です。楽しいですよ～！！

□ちゃれんじ②～石川塾体験授業から入塾～

石川塾にお世話になった経緯は、幼稚園のお友達で年少の早いうちからひらがなが読み書きできたり、足し算ができるお子さんに触れて、「私もひらがながを讀んだり、書けるようになってお友達にお手紙を書けるようになりたい」という思いに込めようとお教室を探していたところ、石川塾の「国語力を身につける」という内容が気に入り体験を申し込みました。石川塾での3回の体験はとても強烈な印象が残っています。朗読暗唱しながらいろんな言葉の糸を引っ張って辞書で写真を見ながら言葉の意味を調べたり、いろんな言葉を頼りにたくさん脱線しながら授業が進行していくのです。集中できているし、ペースは保ちながら。親の私まで授業に引き込まれるのでした。石川塾にお世話になるようになってから、ひらがなは書くのはゆっくりでしたが、読むのはすぐに読めるようになりました。朗読暗唱がとても好きで、一生懸命取り組んでいました。●リホさん(小1)のお母さんからの VOICE ■(千の声 VOICE2018 秋号より)

□<からだのいろいろ②>ワークショップ(申込受付中)/12月26日、27日 10:00～12:00

12月26日、27日に『自分の人体解剖図』(心臓・肺臓)を描いてみよう!!のワークショップを行います。今、その講義内容を考え中です。どこからはじめようか。どこまで掘り下げようか。どうしたら楽しいか。もっと知りたいを引き出すにはどうしたらいいか。子ども向けの人体解剖図と医療従事者の専門書を見比べながら…。医師である主人にも相談したり…。主人は外科医ですが、研修医の頃から手術の前や後に解剖をデッサンしていました。色鉛筆も使って実にカラフルに。子どもに書くイラストには絵のセンスを全然感じませんが、そのデッサンは教科書を書き写したみたいに美しかったのを覚えています。いかにリアルに伝えられるか…。そこがカギだと思いますが…。まだまだ試行錯誤が続きます。

□秘話① 漢字検定2級合格 ～聞いてみよう・やってみよう～

私は中学2年生の時に漢検にチャレンジしました。ただ範囲が大学生レベルのもので合格率も20%を切る問題でしたので並大抵の努力では受かることはできませんでした。とにかく私は反復練習を続け練習しました。全回数全問を解いたら点数の低かった順にさらに繰り返すことを家でも塾でも学校でも時間があればやっていました。9割を超え満点に近づいてきたら後は初歩的な確認です。例えばこの漢字は[ころもへん]なのか[ねへん]なのか、[さんずい]なのか[にすい]なのかなどです。移動中や手が疲れて来た時、頻出度順の教材をひたすら赤シートで隠しながらわからないところには印をつけて繰り返し読んでいました。頻出度順も読めるだけでは意味がないので赤シートで隠して別の紙に書くなどの対策もしていました。試験対策にやって無駄なことはありません。知っていれば知っている分だけ得点は上がります。試験までに自分ができることすべてができるように計画的にまた自分に負けないで取り組んで見てください。余談ですが、私は試験の時ど忘れしてどうしても思い出せない漢字がありました。試験中なので焦ってしまったのですが問題用紙、回答用紙を探しに探しその漢字を見つけ正解することができました。運良くそういったこともあるので諦めずに最後まで挑戦してみてください。●マイ先生からの VOICE ■(千の声 VOICE2018 秋号より)